

## 平成29年度第3回宇都宮市民大学運営協議会

日 時 平成29年12月1日（金）  
午後3時～

会 場 人材かがやきセンター研修室  
（中央生涯学習センター5階）

### 次 第

1 開 会

2 議 題

（1）平成29年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について・・・資料1

（2）平成30年度宇都宮市民大学講座企画・運営ボランティアスタッフ

企画講座の決定について・・・・・・・・・・・・・・・・資料2

3 そ の 他

4 閉 会

## 宇都宮市民大学運営協議会委員名簿

任期：宇都宮市民大学運営協議会運営要領第4条の規定による期間  
(平成28年9月1日～平成30年8月31日)

平成29年10月1日現在

No.	氏名	所属団体等役職
◎ 1	あいは えつお 饗庭 悦夫	作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 事務局長
2	かとう たけお 加藤 文雄	宇都宮大学 企画広報部企画広報課長
3	かわしま やすお 川島 育郎	株式会社栃木放送 報道制作局長
○ 4	かわもと きよし 川本 清	帝京大学 宇都宮キャンパス 事務長
5	こだち ちゅうじ 小太刀 忠治	宇都宮共和大学 事務局長
6	こばやし じろう 小林 治郎	株式会社 下野新聞社 編集局総務部長 【鈴木委員の人事異動による後任】
◇ 7	こばり きょうこ 小針 協子	とちぎボランティアNPOセンターぽぽら コーディネートリーダー
◇ 8	のなか まさと 野中 正知	公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 事務局長
9	はせがわ きょうこ 長谷川 京子	宇都宮市生涯学習センター運営審議会 委員
10	みこがい ひさお 御子貝 久男	宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ

(五十音順)

◎ 会長      ○ 副会長      ◇ 監事

## 平成 29 年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について

### 1 合同開講式・公開講座

#### (1) 開催日時

平成 29 年 10 月 23 日 (月) 午後 2 時～午後 4 時

#### (2) 会場

宇都宮市役所 14 階大会議室

#### (3) 参加者数

166 名

#### (4) 合同開講式

##### ア 実施内容

- ・ 主催者挨拶 宇都宮市教育委員会 教育長 水越 久夫  
作新学院大学 学長 渡辺 弘 氏
- ・ 来賓挨拶 宇都宮市生涯学習センター運営審議会 副委員長 竹内 律 氏
- ・ 受講者証交付 宇都宮市教育委員会教育長より受講者代表 2 名へ交付

##### イ 受講者の感想・意見

- ・ 市役所が会場で交通の便が良かった。今後も市役所での実施を希望する。
- ・ 一同に会して顔を合わせることで他の受講生とのコミュニケーションに繋がると思う。
- ・ 合同開講式の必要性を感じられない。各専門講座の初回に開講式を行えばいいのでは。

##### ウ 評価

受講者のアンケートでは、7割以上が「とても意義があった」「どちらかといえれば意義があった」と評価している。

また、作新学院大学の共催のもと、専門講座実施会場（中央生涯学習センター）近隣の宇都宮市役所で開催したことは、受講者の学習意欲の高揚及び、満足度の向上に繋がったものと考察される。

#### (5) 公開講座

##### ア 実施内容

- ・ 講師 西田 直樹 氏  
(作新学院大学女子短期大学部 教授)
- ・ テーマ 私たちが若者に伝えられること  
～いきいき宇都宮 Life のススメ～
- ・ 講義内容 現代の若者の現状を踏まえ、私たちが若者に与えられるような「これからの大人の生き方」について、生涯学習の視点から考える講座。

## イ 受講者の感想・意見

- ・ 若い力に期待したい。若者と交流することを学んだ。
- ・ 「とちぎ学」という言葉をはじめて聞いて新鮮な気持ちになった。「とちぎ学」についてもっと知りたい。
- ・ 歴史と情報の共有を，これからは子どもや孫に伝えたい。久しぶりの感動。
- ・ 全員に共通する意義ある講座は困難であり，公開講座は必要ないと思う。

## ウ 評価

- ・ 受講者アンケートでは，「とても良かった」「どちらかといえば良かった」との意見が8割弱と，満足度の高い講座であった。
- ・ 現代の日本の若者が世界と比較して自己肯定感が低い傾向にあることや未知のことに取り組む意欲を持ってない傾向にあること等が示された。
- ・ 大人が若者に対してできることについて，受講者がシニア世代中心であることを踏まえ，シニア世代が共感しやすい内容で示唆されたことから，受講者アンケートの「若者との交流を持つ必要を痛感」との意見の増加に繋がったものと考察される。
- ・ 講師が作新学院大学で教鞭を執る「とちぎ学」の体験版ミニミニ講座として宇都宮の歴史について，昔の白黒写真からカラー写真へと復元した写真とともに紹介され，視覚的にも知的好奇心を満たされた受講者も多いのではないかと考察される。

⇒ 別紙1参照

## 2 専門講座

No.	講座名 (開講数) 【講座コース】	講師	開催期間	(募集定員) [応募者数] 受講決定数
1	修復師から見た日光の社寺 ～日本の宝を後世に伝える 伝統職人の技～ (全6回) 【郷土を愛する地域・文化・歴史コース】	日光市教育委員会事務局文化財課 副参事 鈴木 泰浩 氏 金沢金箔伝統技術保存会 会長 松村 謙一 氏 岩手県浄法寺漆生産組合 組合長 泉山 義夫 氏 株式会社 喜屋 代表取締役 松下 満 氏 公益財団法人 日光社寺文化財保存会 技師長・工事監督 浅尾 氏, 漆塗管理技術者 佐藤氏, 上席主任技師 原田氏, 主任技師 高橋氏 彩色主任技能士 手塚氏 株式会社 小西美術工藝社 代表取締役社長 デービッド・アトキンソン 氏	10/28～ 12/9	(80) [110] 79
2	「秀吉の知略！家康の戦略！」 ～秀吉の宇都宮・会津仕置から 家康の小山評定・関ヶ原の戦いまで～ (全7回) 【郷土を愛する地域・文化・歴史コース】	大田原市黒羽芭蕉の館 学芸員 新井 敦史 氏 栃木県立博物館 学芸部長 江田 郁夫 氏 株式会社 産経新聞社 宇都宮支局 次長 水野 拓昌 氏 小山市立博物館 学芸員 尾上 仁美 氏	10/30～ 12/11	(50) [171] 49
3	ぎょうざ・いちごに続け Only1への挑戦 (全5回) 【郷土を愛する地域・文化・歴史コース】	株式会社あしぎん総合研究所 チーフエコノミスト 豊田 晃 氏 非営利活動法人とちぎ未来文庫 代表理事 五十嵐 幸子 氏 株式会社ファーマーズ・フォレスト 代表取締役社長 松本 謙 氏 宇都宮大学 農学部 准教授 柏崎 勝 氏 株式会社日本経済新聞社 宇都宮支局長 花淵 敏 氏	10/31～ 11/28	(50) [27] 26
4	どこまで進化する人工知能(AI) ～人工知能(AI)は 人間の頭脳を超えるのか～ (全6回) 【今を読み解く現代社会コース】	宇都宮大学工学部 機械知能工学専攻 教授 尾崎 功一 氏 帝京大学理工学部 情報電子工学科 講師 山根 健 氏 宇都宮大学工学部 機械知能工学専攻 准教授 星野 智史 氏 株式会社ViAR&E 代表取締役 市浦 茂 氏 宇都宮大学工学部 機械知能工学専攻 教授 横田 和隆 氏	11/10～ 12/22	(50) [65] 60
5	担当記者が見た司馬遼太郎さん ～街道についてゆく～ (全5回) 【暮らしを彩る教養コース】	株式会社朝日新聞出版 週刊朝日 編集委員 村井 重俊 氏	10/31～ 11/28	(70) [122] 78
6	〔作新学院大学連携講座〕 「キラッと輝く宇都宮Life」 ～毎日を笑顔にする、 さわやか学習メニュー～ (全5回) 【暮らしを彩る教養コース】	作新学院大学女子短期大学部 教授 青木 章彦 氏 作新学院大学 経営学部スポーツマネジメント学科 講師 菅谷 美沙都 氏 作新学院大学 経営学部スポーツマネジメント学科 准教授 関根 正敏 氏 作新学院大学女子短期大学部 講師 穴戸 良子 氏	11/6～ 12/4	(40) [17] 15
合 計			(募集定員) [応募者数] 受講決定数	(340) [512] 307

平成29年度宇都宮市民大学後期合同開講式・公開講座実施報告



- ◇開催日時 平成29年10月23日(月) 午後2時～午後4時
- ◇開催場所 宇都宮市役所 14階
- ◇受講者数 166名 ◇アンケート回収数 126名( 75.9 %)
- ◇出席来賓 1名
- ◇出席主催者 10名
- ◇専門講座企画Vスタッフ 8名
- ◇運営スタッフ 11名

受講者について(全体)		区分	人数	割合
<p>(1) 年齢</p>	1 20歳未満	0	0%	
	2 20代	0	0%	
	3 30代	0	0%	
	4 40代	1	1%	
	5 50代	4	3%	
	6 60代	57	45%	
	7 70代	49	39%	
	8 80歳以上	12	10%	
	無回答	3	2%	
合計	126	100%		
<p>(2) 性別</p>	区分	人数	割合	
	1 男性	63	50%	
	2 女性	53	42%	
	無回答	10	8%	
	合計	126	100%	
<p>(3) 公開講座と専門講座</p>	区分	人数	割合	
	1 公開講座のみ受講	4	3%	
	2 公開講座と専門講座を受講	119	94%	
	無回答	3	2%	
合計	126	100%		
<p>アンケート結果 合同開講式について</p>	区分	人数	割合	
	1 とても意義がありよかった	22	17%	
	2 どちらかといえば意義があった	61	48%	
	3 どちらかといえば意義があるとはいえない	30	24%	
	4 意義があるとはいえない	7	6%	
	無回答	6	5%	
合計	126	100%		
<p>公開講座について</p>	区分	人数	割合	
	1 とてもよかった	42	33%	
	2 どちらかといえばよかった	56	44%	
	3 どちらかといえばよくなかった	14	11%	
	4 よくなかった	7	6%	
	無回答	7	6%	
合計	126	100%		

## 平成 30 年度宇都宮市民大学 V スタッフ企画講座の決定について

## 1 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会の開催状況

- (1) 開催日 平成 29 年 11 月 8 日 (水)  
 (2) 場 所 人材かがやきセンター研修室  
 (3) 審査方法 企画者によるプレゼンテーションの審査  
 (4) 選考数 9 講座 (3 コース)

## 【参考】

コース	内 容
<b>I 郷土を愛する 地域・文化・歴史コース</b>	地域の歴史や文化、産業、自然、民俗など地域の特徴を学び、郷土に誇りや愛着をもつための講座
<b>II 今を読み解く 現代社会コース</b>	個人や社会を取り巻く環境がめまぐるしく変化する現代社会において、より賢く快適に暮らしていくため、社会の流れを読み解き、暮らしや地域コミュニティに活かしていく知恵を学ぶ講座
<b>III 暮らしを彩る教養コース</b>	芸術・文学・科学のほか、先進技術など広範で学術的なテーマから深い教養を身に付け、潤いのある生活を送るための講座

## 2 選考結果

コース別選定状況は下記のとおり。

分野(コース)	V スタッフ企画			調整(案) V スタッフ企画		
	前期	後期	合計	前期	後期	合計
<b>I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース</b>	No.1	No.2 No.3 No.4	4企画	No.1 No.3	No.2 No.4	4企画
<b>II 今を読み解く現代社会コース</b>	No.1 No.2 No.3	0	3企画	No.1 No.2	No.3	3企画
<b>III 暮らしを彩る教養コース</b>	No.2	No.1	2企画	No.2	No.1	2企画

※ 講座のバランス等を総合的に考慮し、I コースの 1 企画を後期実施から前期実施へ、II コースの 1 企画を前期実施から後期期実施に調整する。

平成30年度宇都宮市民大学講座企画選考委員会選考結果一覧表

(平成30年度実施 講座企画・運営ボランティアスタッフ企画運営専門講座 9講座)

コース	コース 順位	講座名	ねらい	時期	企画者	得点	全体順位	委員コメント
Ⅰ 郷土を愛する地域・文化・歴史	1	中世宇都宮一族の文化力 ～「宇都宮歌壇」の成立と和歌をめぐって～	宇都宮歌壇で生まれた和歌作品を読みながら学ぶことで、中世における地方武士団の文化の独自性と高度な水準に改めて学び、気づくことをねらいとする。	前期★	大山眞一	171	3	・県立博物館の企画展ともマッチしたタイムリーな企画である。 ・視点は、宇都宮の文化の原点にかかわるものなので、興味を持つ人も多いと思う。
	2	宇都宮の近現代Ⅱ ～戦後史のあゆみ～	今年度前期で実施した～県庁まえ移転から大空襲まで～に続き、戦後から現在に至るまでの歩みを学ぶ講座。宇都宮の歴史について理解を深めるとともに、歴史的事実を次世代への継承のきっかけとすることをねらいとする。	後期★	ともしび	167	4	・宇都宮市の歴史シリーズとして継続性は必要と考える。 ・戦後のあゆみを再認識しながらも、今後の宇都宮市の「まちづくり」に役立てるのではないかと考える。
	3	【後期から前期へ変更予定】 悪人か？英雄か？ ～悠久の年月を超えて再評価を考える歴史上の人物～	歴史上評価の低かった道鏡、平将門、足利尊氏の3人にスポットを当て、各々がその時代を力強く生き抜いた実績を再評価し、それに伴う北関東の武将達の動向を分かり易く再認識することをねらいとする。	後期★	宙	152	8	・取り上げた人物は大変有名なので、関心を持つ人は多いと思う。 ・「悪人」か「英雄」かの視点は面白い。
	4	修験の世界 日光山の歴史と信仰 ～再発見 山岳霊場日光山の遺産～	世界遺産の日光、開創以来千二百有余年の歴史、その歴史的価値について「日光修験」の視点からひも解き、古代から崇められてきた郷土下野の日光山における、歴史的・宗教的な価値を学ぶことをねらいとする。	後期	宇賀神光夫	146	9	・本県の観光地日光のテーマなので関心は高いと思う。 ・講座内容は難しく思えるが、興味が湧く企画だと思う。
Ⅱ 今を読み解く現代社会	1	希望と共に生きる ～新しい知識、がんの発症・発見・治療・生きる力・仲間達そして健康への感謝を学んでみませんか。～	様々な医学情報が飛び交う時代、二人に一人は発症するといわれている悪病『がん』。『がん』の発症・発見・治療などの正しい情報による、新しい知識を身に付け、今後の生活に役立てることをねらいとする。	前期★	宙	175	1	・がんの早期発見のための新たな技術が開発されている昨今、期待する講座である。 ・がんを多面的にとらえており、多くの人が関心を持つテーマと考える。
	2	自然災害にどう対応する？ ～多発する自然災害に備える～	近年の異常気象による甚大な自然災害に対し、災害時の行動、緊急時の住民同士の協力の大切さなどを理解し、市民一人ひとりの防災意識の向上と具体的な災害対応能力の向上をねらいとする。	前期	縁	163	6	・自然災害はいつ自分の身に起こるかわからず、防災意識を高める企画だと思う。 ・日常、誰にでも共通している課題を取り上げていると思う。
	3	【前期から後期へ変更予定】 老いを笑って暮らすために ～笑いの健康学～	老いとともに起こる病気、介護、葬送、住まいの問題等の不安な事柄の対処法や、人生に欠かせない家族、友人、地域の人たちとの語り合いなどを笑って楽しく過ごすための手法を学び日常に活かすことをねらいとする。	前期★	ともしび	156	7	・興味関心の高いテーマだと思う。老人だけの家庭が多くある中、不安解消と笑いの場を作ることは意義があると考えられる。 ・笑いを生活にどのように取り入れるかは、健康で元気に生活を送るために不可欠だと思う。
	4	子どもの育ちを考える ～シニアのちよつとしたお手伝い～	子育てが終わったシニアの人たちが、現代の子育てを学び直すことで、孫育てや地域の子育てへのかかわりを促すことをねらいとする。	前期★	ともしび	143	10	・社会ニーズ、市民ニーズから考えるとテーマが絞られすぎている。多様性を理解するような内容で検討してほしい。 ・行政が無料で行うべき内容ではないか。
	5	近年の気象災害に備えて ～いつ、誰と、どこへ、どうやって避難しますか～	近年の気象災害に備えて、「高齢だから無理」ではなく、避難時の協力・助け合い、日頃の確認などの大切さを学び、事前準備や家族・地域活動への実践に繋げることをねらいとする。	後期★	ともしび	139	11	・ワークショップや実技が多く、正しい知識をきちんと学ぶ内容を充実させる構成にした方がよい。 ・高齢者ができる避難の説明が具体的に欲しい。
Ⅲ 暮らしたを彩る	1	俳句と絵画、ふたつの道の達人「蕪村」を学ぶ ～「蕪村」号は宇都宮から始まった～	俳人蕪村の人生の足取り、俳句の特徴、独学で多彩な画法を身につけ多くの名作を残した絵画や、蕪村が大成した俳画について学び、脳の活性化、老化防止に繋げることをねらいとする。	後期	ジャンプ	172	2	・蕪村はよく知られた俳人であるが、その人となりはあまり知られておらず、知ることでより深めて俳句を学ぶ機会になると思う。 ・蕪村の深い人間像を知りたい人が多いのではないかと考える。
	2	慈覚大師円仁を学ぶ ～危険を冒すものとそれを助けるもの～	慈覚大師円仁は下野国に生まれ、仏教を学び苦難の遣唐使の旅から無事帰国し、その後日本仏教の母山になっていく比叡山の基礎を築いた偉業や栃木の偉人を学ぶことをねらいとする。	前期★	ともしび	164	5	・円仁の名前は耳にするが専門的なことは知らず、分かり易い企画に期待したい。 ・歴史上の高僧には多くの人が関心があると思う。

※応募企画数：前期6講座、後期5講座(館外学習実施講座4講座)



## 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会委員名簿

任期：宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会運営要領第4条の規定による期間  
(平成28年9月1日～平成30年8月31日)

平成29年4月1日現在

No.	氏名	所属団体等役職	
	1 江田 壮一 (えだ そういち)	宇都宮短期大学 事務局次長	
◎	2 川本 清 (かわもと きよし)	帝京大学 宇都宮キャンパス 事務長	
	3 さとう ひでお 佐藤 英雄	株式会社 エフエム栃木 常務取締役業務推進本部長	
○	4 しまだ しげお 島田 繁雄	宇都宮メディア・アーツ専門学校 校長	
	5 たかだ げん 高田 玄	栃木県教育委員会事務局 河内教育事務所 ふれあい学習課長	欠席
	6 まちだ あきひさ 町田 明久	株式会社 とちぎテレビ 役員待遇放送本部長	
	7 まるやま じゅんいち 丸山 純一	文星芸術大学 美術学部 教授	
	8 ますぶち しげこ 増渕 重子	宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課 課長	
	9 きぎや ふみこ 鷺谷 文子	宇都宮市教育委員会 中央生涯学習センター 所長	
	10 そうとめ みつえ 早乙女 みつえ	宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課 人材かがやきセンター 地域教育指導員	

(No 1～7 : 五十音順)

◎ 委員長      ○ 副委員長

## 「審査項目」と「審査基準」

(プレゼンテーション審査マニュアルより抜粋)

審査項目は、下表のとおりとする。

### 1 審査項目

(1)	社会ニーズ	社会の変化や要請，地域の特性や文化など，本市のまちづくりやコミュニティの発展，あるいは市民の郷土理解に資する社会的な視点やねらいが盛り込まれているか。
(2)	市民ニーズ	市民が求める高度で専門的な学習ニーズをとらえているか。
(3)	構成力	設定された講座のねらいに沿った各回の展開や組み立てがされているか，また実習やワークショップなど，学習効果を高めるための工夫がされているか。
(4)	運営力	適切な講師の想定，事前準備や講座運営に対する考え方など，確実に講座を運営していくための体制が整っているか。 <u>ただし，企画応募条件において，講師の確保までは求めないこととしているため，想定講師の受諾については審査に加味しない。</u>
(5)	発展性	講座を契機とするネットワークの形成，学んだことを実践し，生かせる仕組みづくりや導入，リーダー養成に資するスキルの習得など，受講者の行動や考え方の変化を促す効果があるか。

### 2 審査基準

点数	審査基準
5	とても優れている
4	優れている
3	やや優れている
2	やや劣っている
1	劣っている